

オーケストラ・アンサンブル金沢 ～和洋の響Ⅱ～
「能舞とオーケストラ」作品（新曲）募集

藩政期から続く伝統文化とクラシック音楽が出逢い、響き合う石川県立音楽堂では、その開館以来オーケストラ・アンサンブル金沢によって多くの「和」と「洋」のコラボレーション作品が上演され、石川・金沢の文化に厚みを加えてきました。昨年度は《和洋の響》公演において、公募による優秀作品が初演（※1）され、また佳作の一作品の初演が2021年5月に予定されています（2021/4/7現在）。

（公財）石川県音楽文化振興事業団では、本年度も《和洋の響Ⅱ》公演を開催することとし、引き続き、若手作曲家の方々を対象として、下記の通り演奏作品を募集します。採用作品は、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏により広く国内外に発信されます。新たな文化が生まれる瞬間に相応しい、皆様の作品のご応募をお待ちしております。

- 採用点数 1点
- 参加資格 40歳以下（公演日当日の年齢）で、作曲を学んでいる方
- 応募方法 所定の申込書に必要事項を記入し、提出物とともに下記へ送付すること（申込書は当団ウェブサイト（<http://www.oek.jp/news/wayo2021>）よりダウンロードできます）
- 受付期間 2021年9月1日（水）～9月30日（木）必着
- 作品内容
 - ・能舞と合わせることが可能な、邦楽器を取り入れたオーケストラ作品（形式自由）
 - ・未発表の新曲であること
 - ・誰もが親しむことができ、繰り返しの再演が期待される作品であること
 - ・邦楽器は、三味線、尺八、琵琶、胡弓、箏（十三絃）から、1つまたは2つを選択すること
- 演奏時間 7分程度とする
- 編成 オーケストラ・アンサンブル金沢が演奏可能な下記の編成とする
最大編成：弦楽器8型、管楽器2222-2200、ティンパニ（打楽器兼務可）1、打楽器1

オーケストラ・アンサンブル金沢

- 提出物 所定の申込書、スコア（印刷されたもの2部）・デモ音源（CD）
- 審査委員 **審査委員長** 池辺晋一郎（作曲家、石川県立音楽堂洋楽監督）
審査委員 広上淳一（初演指揮者）
- 採用通知 2021年10月31日（日）までにEメールまたは電話にて応募者へ通知したうえで、採用作品については、各種メディア、ウェブサイト等にて公表します。
- 作品発表 2022年2月8日（火）19:00開演 石川県立音楽堂コンサートホール
指揮 広上淳一
能舞 渡邊荀之助（宝生流能楽師）
管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢
- 採用謝礼 10万円
- その他 2022年2月7日（月）のリハーサル、8日（火）の本番に立ち会うこと
国内交通費、宿泊費の支給あり

主催・申込み・問合せ先

公益財団法人石川県音楽文化振興事業団
「和洋の響Ⅱ」新曲募集係

〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1

TEL 076-232-0171

E-MAIL office@oek.jp

<http://www.oek.jp/news/wayo2021>

（※1）旭井翔一「雲烟繚繚」2021/2/14 石川県立音楽堂コンサートホール（指揮：広上淳一、能舞：金剛龍謹（金剛流能楽師）、箏：北川聖子、三味線：今藤長龍郎、管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢）

オーケストラ・アンサンブル金沢

〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1 石川県立音楽堂内
Tel.+81-(0)76-232-0171 Fax.+81-(0)76-232-8101